

久留米大学を受診した患者さんへ

「青少年における「疼痛又は運動障害を中心とする多様な症状」の受療状況に関する全国疫学調査」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間： 2015（平成 27）年 7 月から 2015（平成 27）年 12 月
- 2) 受診科： 精神神経科 または 複数科にわたるもの
- 3) 対象疾患名： 疼痛および感覚障害、運動障害、自律神経症状、認知機能障害
- 4) 使用する情報： 診療情報

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属： 神経精神医学講座
研究代表者： 助教 柳本寛子
研究分担者： 教授 内村直尚

2) 研究の意義と目的： この研究は、青少年の「疼痛又は運動障害を中心とする多様な症状」の実態に関する統計的資料の作成と今後の医療施策を目的に全国の医療機関を対象に調査が行われます。

3) 研究の方法： 疼痛および感覚障害、運動障害、自律神経症状、認知機能障害の受診患者数、既往歴、症状や経過、診療内容、ワクチン接種歴、就学・就労状況を受診したカルテを基に、本学内で匿名にした上で回答します。

4) 研究期間： 倫理委員会承認後～平成 32（2020）年 3 月

5) 上記の情報の使用を選定した理由： 研究対象として、全国のすべての病院が対象とされており、大学病院および 200 床以上の病院に対しては 100%の調査対象となっています。全国約 19,000 科の診療科で調査が行われます。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について： カルテの取り扱いについては、匿名化したうえで集計するため、対応表が作成され、調査の回答そのものには氏名やその他の個人を特定できる情報は使用されません。対応表の取り扱いについては、厳重に保管し、保存期間終了後（2017 年 3 月末）後は、シュレッダーなどで破棄されます。

7) 研究成果の発表の方法： 研究の成果は、研究報告書、学術集会、論文等で発表される予定です。その際も、匿名化された集計データが使われますので、個人情報公表されることはありません。

8) 利益相反： 本学で行われるこの研究に関して、特定の企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

久留米大学 医学部神経精神医学講座

助教 柳本寛子

久留米市旭町

(TEL) 0942-31-7564